

試合番号 : 193		試合会場 : エントリオ (豊田合成記念体育館)				観客数 : 1,550	
開始時間 : 16:30		終了時間 : 18:42		試合時間 : 02:12		主審 : 千代延 靖夫	
副審 : 城 智人		ウルブドッグス名古屋		パナソニックパンサーズ		通算 24勝 11敗 ポイント : 74	
通算 27勝 8敗 ポイント : 80		22 第1セット 25		25 第2セット 22		25 第3セット 23	
25 第4セット 15		3		1		監督コメント	
監督コメント		花の便りが届いた、ここ豊田合成記念体育館「エントリオ」へ足を運んで頂いたファンの皆様、心より感謝申し上げます。相手チームのサーブに対して、苦しめられる場面がありましたが、選手たちは最後までチーム一丸となって闘ってくれたと思います。明日も同じ相手となりますが、これからの時間を有効に準備して、高いレベルの試合をお見せできるように頑張りますので、我々ウルブドッグス名古屋と共に闘いましょう。世界中の人々に春風と共に健康と安全が訪れますように祈っております。 Unite as One!		強いウルブドッグス名古屋に負けました。クレクは素晴らしく、WD名古屋のブロックとディグが機能していたので私たちのアタック決定率が良くなかったです。しかし明日もあるので、今日の試合は忘れて明日のために準備していきます。本日もたくさんの応援、ありがとうございました。			
要約レポート							
V・ファイナルステージ進出には勝利したいパナソニックパンサーズと、この試合に勝ってV・レギュラーラウンド優勝を決めたいウルブドッグス名古屋の一戦。第1セット、両チーム一歩も譲らない展開が続く。WD名古屋の持っている男・勝岡がリリーフサーブでコートに入ると流れを掴み、19-16とリードする。しかしパナソニック清水が気迫のこもったサーブを打ち込み20-20と追いつくと、最後はクビエイクの3連続得点でセットを先取した。第2セット、WD名古屋は途中出場の山田がブロック、スパイク、サーブと得点を重ね、チームに流れを呼び寄せる。リズムを変えたいパナソニックは新と大竹を投入。リベロ伊賀の好レシーブ、大塚の強烈なバックアタックなどで食らいつづき、WD名古屋はセッター永霧が冷静なトス回してスパイカーを生かし、セットを取り返した。第3セット、一進一退の展開が続いたが、終盤で抜け出したのはWD名古屋。大エース・クレクやベテラン近が要所で得点を重ね、このセットをものにした。第4セット、WD名古屋はクレクを中心に得点を重ね、16-9と大きくリードする。パナソニックは積極的に攻撃を仕掛けているものの、WD名古屋の高いディフェンス力に阻まれ、終始WD名古屋ペースで試合が展開し、ゲームセット。この勝利でWD名古屋はV・レギュラーラウンド優勝を決めた。							

試合番号 : 224		試合会場 : エントリオ (豊田合成記念体育館)				観客数 : 1,100	
開始時間 : 11:30		終了時間 : 13:10		試合時間 : 01:40		主審 : 原 啓之	
副審 : 山本 晋五		ジェイテクトSTINGS		サントリーサンバーズ		通算 26勝 9敗 ポイント : 71	
通算 15勝 20敗 ポイント : 45		25 第1セット 27		25 第2セット 27		17 第3セット 25	
0		3		監督コメント			
監督コメント		まずは、サントリーサンバーズの素晴らしいプレーを称えたいと思います。選手たちは悔いなく、全力で戦ってくれたので、皆のことを誇りに思っています。いつも応援、ありがとうございます。引き続き、応援よろしくお願いします。		本日も、サントリーサンバーズへの応援、ありがとうございました。上位進出をかけた重要な試合に選手たちは大きなプレッシャーだったと思いますが、それを押ししのけ、自分たちのパフォーマンスを発揮してくれました。ジェイテクトは強いサーブとショートサーブを使い分けプレッシャーをかけてきましたが、良く我慢し、サーブで攻めてリズムを作ることができました。V・レギュラーラウンドも明日で終了です。V・ファイナルラウンドに良い流れを作るためにも、明日の試合に全力で取り組みたいと思います。サントリーは最後まで「PLAY HARD」を実践し、成長していきたいと思います。			
要約レポート							
ジェイテクトSTINGSのホームゲームに、V・ファイナルステージ進出を決めたいサントリーサンバーズを迎えるの一戦。第1セット、ジェイテクトは都築、宮浦の攻撃決定力が光る。村山もベンチに突っ込みながらボールをつなぐ場面や、途中出場の興梠の確実なディグに会場のファンは盛り上がりを見せた。一方サントリーは大宅のトスワークから、柳田、ムセルスキーの高さとパワーのあるアタックで確実に得点を重ね、デュースにもつれる展開になったが、最後は僅差でサントリーが先取した。第2セット、ジェイテクトは2-3から福山のサーブを起点に、久保山と村山の息の合ったコンビネーション攻撃も冴え、6-3と逆転する。そのまま勢いに乗っていくかと思われたが、要所でサントリー、鎌田のアタックが決まり、中盤に追いつくと、ムセルスキーが大車輪の活躍をみせ、最後もノータッチでサービスエースを決め、セットを連取した。第3セット、ジェイテクトは村山、宮浦の攻撃で奮闘するも、サントリーは小野と藤中が要所でブロックを決め、流れを変えた。柳田、ムセルスキーの攻撃も好調をキープし、最後は影がアタックを決め、ファイナルステージ進出を決める大切な一勝を勝ち取った。セットを通じて常に攻めたサーブを打ち続け、プレッシャーをかけたサントリーのサーブはとても素晴らしかった。							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット		通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット		監督コメント	
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット		通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット		監督コメント	
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							